

平成29年度 岡崎保育園 事業報告

こども・子育て支援制度が施行され2年、昨年の社会福祉法人制度改革から1年が経過しました。保育制度や社会が大きく変化してきている今、子どもたちにより良い育ちや学びを、保障し続けることが、これまで以上に求められてきました。

平成29年度3月、入園児童数143名・充足率117.9%でした。休日保育の利用は増加し、保育ニーズの要求には、答えられてきていますが、地域利用の一時預りは、昨年度に比べ、利用数は減少しています。(別紙 参照)

また、『地域における公益的な取り組み』の実現に向けて、子ども貧困問題から「こども食堂」の実施、子育て相談や親子支援等に力を入れて、ぴよぴよクラブの充実を図ってきました。このような取組を、職員と共有の思いになるよう働きかけていきましたが、一方で、これらの活動を負担に思う職員もあり、今後の働き方や、人材確保の厳しさ等対応する上での課題として考えていかなければなりません。

<重点目標>

①保育の過程を大切に、保育の質を高め合う。 <養護と教育の読み合わせ 保育指針の理解>

- ・グループワーク中心に保育実践からのエピソードをパート・非常勤職員を含め意見を出し合い、いろいろな方向から保育を振り返る事ができた。
- ・新保育所保育指針を、研修等を通じて学ぶことが出来て、次年度からの保育記録を自分達で話し合い作成することに活かした。

②家庭連携と保育のつながりを見える化していく。 <おひさま広場の開催 物語の可視化>

- ・おひさま広場で、地域の親子も一緒に触れ合いあそびの大切さを伝え、今後も継続していく。
- ・ホームページでブログ更新、読んだ意見や感想等があまりなく、職員の充実感に繋がらず、提出に追われてしまった。

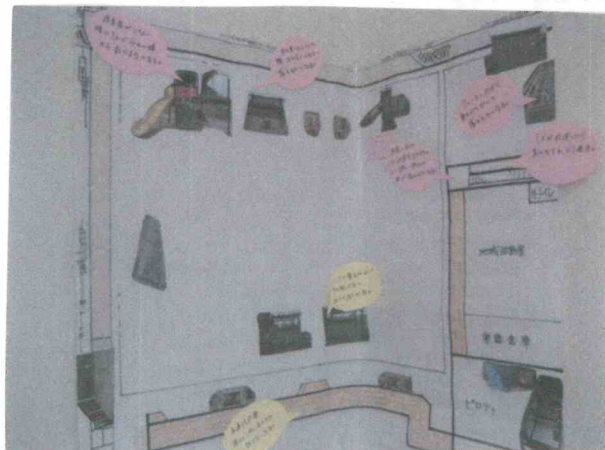
③働きやすい環境づくり

<計画の策定、目標を具体化して、実施、評価のサイクルをつくり、研修を活かして、組織づくり>

- ・園外研修の学びを多く共有することができた。目標管理で、チューターと面談をすることで、振り返りができた。また、自己評価による園の評価を話し合う機会につながらなかった。
- ・持ち帰りの仕事、休憩時間の取り方など職員間の考え方に差があり、初任者職員から不安の声が聞かれることなどから、さらに検討が必要である。

⑤こどもの安全、園の防犯、防災対策の充実をはかる。 <木製遊具の設置 芝生管理>

- ・園庭が広がり、木製遊具を設置したことにより、遊具の対象範囲が広がり、異年齢交流がうまれた。遊びマップも活用され、たくさん遊べるようになった。
- ・MAPを使ったヒヤリハット事例の抽出とヒヤリ会議を行い、事故防止の共通意識に努めた。



④子育て活動の支援と地域のつながりをもつ。＜子ども食堂の実施 ぴよぴよクラブの充実＞

- ・子ども食堂を年11回実施し、延べ528人が参加した。初年度としては多くの利用があった。毎月、当番を決めて担当した。初めての取組であり、職員に戸惑いが見られたが、回数を重ねていくうちに工夫して出 来るようになった。

		5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	
こども食堂	大人	11	23		23	21	30	9	37	15	24	29	222	
(人)	こども	16	30		33	27	39	15	51	24	36	35	306	
利用人数	合計	27	53		56	48	69	24	88	39	60	64	528	
利用収入(円)		1,100	2,300		2,600	1,900	3,000	900	3,500	1,500	2,200	2,900	21,900	



ぴよぴよ	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	
H28年度(人)	37	31	62	71	76	46	84	68	73	30	67	52	697	
H29利用人数(人)	58	75	74	70	48	78	40	102	57	29	45	46	722	

◆平成29年度 事故発生状況

重症事故報告(市県報告) 無し

＜受診件数＞ 13件 (1歳児・1名)(2歳児・6名)(3歳児・1名)(4歳児・4名)(5歳児・1名)

＜状況＞(転倒7件 衝突4件 落下2件 誤食1件) (遊具4件 園庭4件 テラス2件 室内2件)

＜症状＞ 打撲(頭部、目尻、顎) 切傷(口腔粘膜、小帯、歯茎) 擦過傷その他前歯詰めたものとのれる程度であった。

◆平成29年度 苦情受付状況 2件

①駐車場エリアに停車していて子どもと話しているため、通路を塞がれると大変困る。

お便り配布で注意呼びかけ、駐車禁止のコーンを設置

②鼓隊の音がうるさい。(湖西市議さんを通じて)

音源のボリュームを落とす。戸外で行う時間帯に注意する。

◆平成29年度 職員状況

3月末	園長	主任	保育士	栄養士	調理師	事務・業務	学童	
正規	1	1	17	1	1			21
非常勤			3		2		1	6
パート			9			2	6	17
合計	1	1	29	1	3	2	7	44

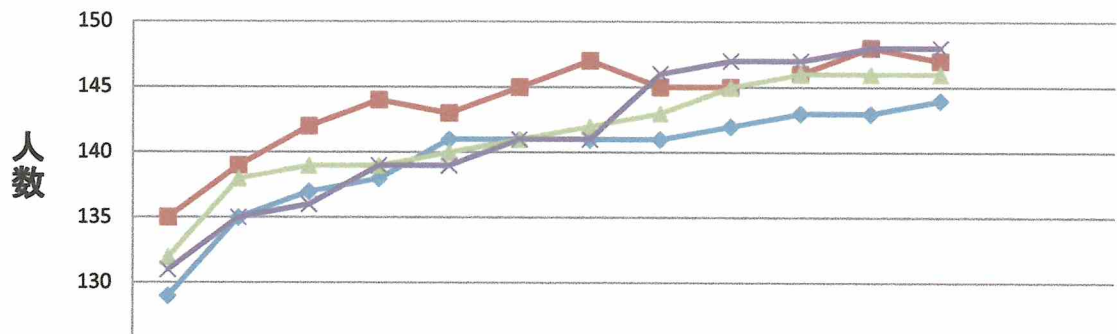
・正規職員 新規新人採用 0名 途中休職者 2名 平成29年度末退職 3名

・パート職員 保育士1名 6月採用 放課後児童クラブ補助員2名 6月採用

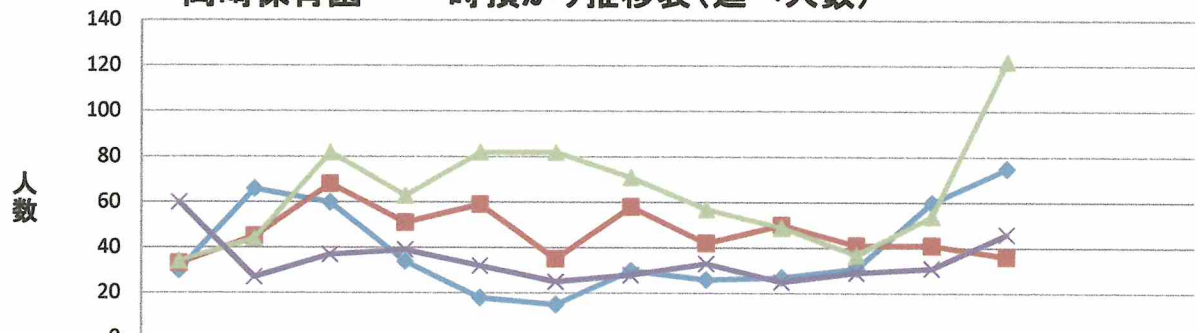
法人として	重点目標	事業報告
1. 保育サービスの質の向上 新保育指針、認定こども園教育 ・保育要領、放課後児童クラブ運営指針に沿った保育・教育の実践 国、市の方針等環境変化に応じた園の経営 保護者への積極的な子育て支援 保育環境の整備 環境を守る取り組み タイムリーな情報発信	①保育の過程を大切にして、保育の質を高め合う。 ②家庭連携と保育のつながりを見える化していく。 保護者への積極的な子育て支援	★保育目標を意識しての保育 ★「子ども理解及び関わりの質」 ・エピソード記述のグループワークを継続させ、保育の過程を大切にしながら、保育実践や子どもの記録の方法を検討する。 ・「養護と教育が一体となった保育の言語化」の本を活用し、事例を出しグループワークで意見を出し合った ★「環境の質」 ・生活の環境、昨年度の研究を活かし、遊びの環境を考えた。手作り玩具や廃材コーナーを作り子どもが自由な発想で作ったり表現したりができた。 ★「遊びが学びの質」 ・園庭の遊びMAPを作成した。 ・子どもの思いに耳を傾け、子どもの姿を読み取る方法を学び合う。自分でやってみたいという意欲と満足感を大切にする保育をエピソードの事例をもとに実践に活用した。 ★「親子支援の質」 ・掲示（クラス日記・写真）こどもブログ ★地元食材の食育活動 ★保護者への発信 HP子どもブログ ・保護者懇談会でグループ対話 ・保育参加会 おひさま広場（月1回） ★気になる子どもの様子について保護者が相談する機会を設ける。 ・個人面談と就学への継続支援 ★木製遊具設置 ★環境係を中心に芝生の管理を行う。 ★花壇、畑の管理
2. 職員の確保・育成 法人全体、職員全体で積極的な新規採用活動を実施する。 働きやすい環境づくり、待遇の改善 計画的な研修	③働きやすい環境づくり 計画の策定、目標、指標を具体化して、研修を活かし、組織づくりをする。	★持ち帰りの仕事、休憩の取り方を把握して、職員のローテーションを考える。 ★目標管理シートの活用 ・チューター制度を積極的に進めていく。 ★マニュアル、係の仕事の見直し ★職員研修 保育所保育指針について 山縣先生

タイムリーな情報発信		・市野与進こども園との情報交換 ★積極的な新人採用活動 ・新人職員からの情報交換 ・合同就職説明会への参加 ・実習生への働きかけ ・HPに採用情報発信 ★中堅リーダー、研修委員会が中心となり、人材育成。 ★キャリアパスの研修に合わせた園外研修へいき、グループ活動研究につなげる。 ・幼教の免許更新 ・幼児研修 安全保健衛生研修 ★中長期計画の見直しが出来なかった
3. 地域への貢献 地域貢献活動の充実 タイムリーな情報発信 環境を守る取り組み	④子育て活動の支援と地域のつながりをもつ。 ⑤こどもの安全、園の防犯防災対策の充実をはかる。	★挨拶をみんなで積極的に行う。 ・思いやり保育の環境を整える。 ★地域交流 光湖苑との交流 ・自治会いきいきサロン ・お年寄りとの継続交流 ・お祭など地域行事への鼓隊参加 ・蛍の放流 ・ひまわりの種まき活動参加 ・畑収穫体験 ★防犯カメラの設置（補助金申請） ・防災マニュアルの見直しが出来なかった ★こども食堂の発信 ・利用者家族からおひさま広場にて低料金で給食提供 ・居場所づくり ・ニーズの調査
4. 法人、事業基盤の強化 法人組織の強化 経営の把握と無駄の排除 国、市の方針等の環境変化に応じた国の経営		★節電 ・去年の電気料より下げる工夫をする。 ★無駄の排除 保育材料費、事務費支出の見直し ★経営の把握（収入支出のバランス）しながら購入を考える。 ★予算・補正の実績把握 ★こども園に向けた湖西市との話し合い情報交換

岡崎保育園 入園児推移表



岡崎保育園 一時預かり推移表(延べ人数)



岡崎保育園 休日預かり推移表(延べ人数)

